

# 令和2年度 事業報告



# 国際赤十字・赤新月運動の基本原則

1965年(昭和40年)にウィーンで開催された第20回赤十字国際会議で、「赤十字基本原則」が決議され、宣言された。

赤十字基本原則は、赤十字の長い活動のなかから生まれ、形作られたもので、「人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救われなければならない。」という「人道」こそが赤十字活動の基本で、他の原則は「人道」の原則を実現するために必要となるものである。

## 人 道 (Humanity)

国際赤十字・赤新月運動(以下、「赤十字・赤新月」という。)は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

## 公 平 (Impartiality)

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月は、ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

## 中 立 (Neutrality)

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

## 独 立 (Independence)

赤十字・赤新月は独立である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律にしたがうが、つねに赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるようにその自主性を保たなければならない。

## 奉 仕 (Voluntary Service)

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

## 単 一 (Unity)

いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

## 世 界 性 (Universality)

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

## はじめに

日頃から赤十字事業の推進につきまして、関係者各位をはじめ、多くの県民の皆様から多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、過去に例を見ない大変な一年となりました。東京オリンピックの延期、外出自粛などによる経済的な損失もさることながら、終わりの見えない長い自粛生活による国民の皆さまの精神的な負担は計り知れません。国民挙げての取り組みにより、一日も早くこの困難な事態が終息することを祈ります。

新型コロナウイルス感染症への対応では、各地の赤十字医療施設での感染症患者の受け入れ・診療にとどまらず、感染症流行により生まれる感染者や医療従事者、その家族に対する差別や偏見、誹謗中傷を防ぐために啓発活動等の取り組みを行いました。

また令和2年7月には、西日本から東日本にかけて起きた猛烈な雨により熊本県を中心に大きな被害が発生。新型コロナウイルス感染症への不安を抱える中での自然災害発生が現実のものとなりました。この災害で日赤は、当支部も含め300名近い救護班を現地に派遣しました。派遣した救護職員はサージカルマスクを着用し、資機材や移動車もこまめに消毒するなど、感染予防策に最新の注意を払って救護を行いました。

近年の自然災害の激甚化・頻発化に加え、世界的な感染症流行への対応など、赤十字が担うべき役割は大きくなっています。日本赤十字社は、多くの方々の期待と信頼に応えることができるよう、引き続き、たゆまぬ努力を続けてまいります。

ここに、令和2年度の事業報告にあたり、関係各位にあらためて感謝の意を表するとともに、引き続きなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和3年5月

日本赤十字社愛媛県支部

# 目 次

1. 災害救護	1
救護活動、救護員養成、救護員の登録・編成状況、救護資器材の整備状況、救援物資の整備状況等	
2. 救急法等の講習	7
活動資金募集実績額、社業振興に伴う会議・研修会、赤十字思想の普及、愛媛県赤十字有功会の活動、赤十字事業支援自動販売機設置の促進	
3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動	18
活動概要、奉仕団の編成・人数等、会議、研修、訓練	
4. 青少年赤十字	21
活動概要、加盟校概要、青少年赤十字メンバー対象の連絡協議会、トレーニングセンター、指導者対象の協議会、研修	
5. 国際活動	25
6. 医療事業	25
7. 血液事業	26
8. 赤十字思想の普及・広報	27
9. 会員、活動資金	27
会員概要、社資概要、企業等とのパートナーシップ、赤十字大会	
10. 役員、評議員会	30
有功会、役員等	
11. 決算概要	32

# 1. 災害救護

災害救護業務は、赤十字の性格と使命上最も重要な事業の一つであります。

このことは、日本赤十字社法(昭和 27 年法律第 305 号)にも明示され、かつ災害救助法(昭和 22 年法律第 118 号)において、国または都道府県知事の行う救助業務に協力するよう義務付けられ、さらに災害対策基本法(昭和 36 年法律第 223 号)により、指定公共機関として防災に関する各種計画とその実施の責任を負っています。

令和 2 年度も、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が多発しました。当支部でも災害に備え、資器材の整備を行うほか、研修会や訓練の実施・参加をしました。

## (1) 救護活動

### ①令和 2 年 7 月豪雨災害

昨年 7 月に熊本県で発生した豪雨災害への対応のため、次のとおり救護班を派遣しました。なお、現地到着後、被災県支部との調整により、現地での活動は中止しました。

- ・派遣日 7 月 25 日(土)・26 日(日)
- ・派遣場所 熊本市
- ・派遣人員 救護班一個班 6 名(医師 1 名・看護師長 1 名・看護師 2 名・救護主事 2 名)及び支部職員 2 名



### ②新型コロナウイルス感染症集団感染発生医療機関対応

松山市内で発生した新型コロナウイルス感染症集団感染発生医療機関への物資等の調整のため、次のとおり職員を派遣しました。

- ・派遣日 5 月 23 日(土)・24 日(日)
- ・派遣場所 松山市
- ・派遣人員 支部職員 1 名

## (2) 救護員育成

### ①救護員研修会

日本赤十字社における救護活動の位置づけ及び赤十字救護員の役割を認識し、今後の赤十字救護活動が迅速に遂行できるよう、共通認識を図るとともに、災害発生時における救護体制の確立を図ることを目的として、松山赤十字病院と協力し、次のとおり開催しました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により回数を減らして実施しました。

開催日及び受講者数

10月10日(土)

43名

開催会場及び内容

- ・開催会場 日本赤十字社愛媛県支部
- ・内 容 「災害サイクルに応じた救護活動」  
「療救護活動における通信・情報伝達・記録」  
「通信機器の取り扱い(実技)」  
「トリアージについて(座学)」  
「START法による一次トリアージ(実技)」  
「PAT(デモンストレーション)」  
「トリアージタグの書き方(講義・実技)」  
「こころのケア(救護者自身のストレス対処)」  
「医療資器材の取り扱い(担架・簡易ベッド等)」  
「救護所内活動(屋内演習)」



### ②救護員の訓練

#### 1) 愛媛県総合防災訓練

- ・開催日 8月29日(土)
- ・開催会場 伊予市双海町ふたみ潮風ふれあい公園
- ・参加者 救護班一個班8名(研修医2名含む)及び支部2名
- ・種 目 大雨と地震の複合災害を想定した訓練

#### 2) 地震・津波防災訓練

- ・開催日 9月27日(日)
- ・開催会場 西予市明浜町 俵津公民館
- ・参加者 看護師1名及び支部1名
- ・種 目 津波被害を想定した救護所運営アドバイザー



### 3) 松山市総合防災訓練

- ・開催日 11月8日(日)
- ・開催会場 松山市立さくら小学校
- ・参加者 救護班一個班9名(研修医3名含む)及び支部2名
- ・種目 南海トラフを震源とした巨大地震を想定した救護訓練

### 4) 令和2年7月豪雨災害救護活動にかかる日本赤十字社第5ブロック各県支部合同検証会 (日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練)

- ・開催日 11月15日(日)
- ・開催会場 日本赤十字社愛媛県支部(WEB会議形式)
- ・参加者 松山赤十字病院1名及び支部2名



### (3) 救護員の登録・編成状況

「日本赤十字社愛媛県支部防災計画」に基づき、災害が発生した場合、その規模等に応じて、前述のとおり被災地に救護班を派遣し、被災者の医療救護に当たります。当支部では、支部及び松山赤十字病院、愛媛県赤十字血液センターの救護員からなる災害対策本部要員、血液供給要員(2班)、常備救護班要員(8班)を次のとおり編成し、救護体制をとっています。

なお、現場の状況に応じて、愛媛県安全赤十字奉仕団、愛媛県アマチュア無線赤十字奉仕団等特殊奉仕団及び防災ボランティアの応援協力を受けることとしています。

- ①日本赤十字社愛媛県支部災害対策本部要員 11名
- ②日本赤十字社愛媛県支部常備救護班 48名  
(医師8名・看護師長8名・看護師16名・主事16名)
- ③日本赤十字社愛媛県支部血液供給要員 4名



#### (4) 救護資機材の整備状況

当支部は、円滑な救護活動を展開するため、下記救護資器材の更新整備を行いました。

- ・災害救護用車載型無線機（150MHz帯） 5式
- ・救護員作業衣（作業帽15個・作業衣上35着・作業衣下40着・ベスト5着等）

#### (5) 救援物資の整備状況

##### ①災害救護物資・災害見舞金・災害死亡者弔慰金

災害救護物資については、災害により、住家の全焼・全壊・流失等の被害を受けた場合、毛布を原則として被災者1人に1枚、緊急セットを原則として被災世帯1世帯に1個配布しました。

また、災害見舞金については、自然災害により住家が全焼・全壊・流失した世帯に対し、1世帯につき見舞金20,000円を贈呈し、災害死亡者弔慰金については、住家の自然災害及び火災に起因する損壊(床上浸水・床下浸水含む)により死亡した場合、1名につき弔慰金20,000円を贈呈しました。※災害見舞金及び災害死亡者弔慰金の贈呈については県内に災害救助法(昭和22年10月18日付法律第118号)が適応された場合は適応除外となります。

贈呈状況は次のとおりです。

市町名	毛布(枚)	緊急セット(個)	安眠セット	タオルケット	弔慰金(円)
松山市	2	2			40,000
今治市	20	10			40,000
宇和島市	9	5			40,000
新居浜市	10	7			
西条市	14	6			
大洲市	0	0			20,000
四国中央市	9	5			
東温市	3	2			20,000
松前町	2	0			
合計	69	37	0	0	160,000

#### (6) 防災ボランティアの養成状況

##### 赤十字防災ボランティア研修会(令和2年度は中止)

災害時に赤十字が実施する医療救護活動、救援物資の配布、情報収集や伝達、安否確認等の救護活動を側面から支援をするため、愛媛県支部に登録している赤十字防災ボランティアの災害時における知識等の育成を目的に実施しています。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



## (7) 災害義援金の受付状況

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

### ■義援金受付状況（令和2年度愛媛県支部受付分）

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
東日本大震災義援金	4月1日～3月31日	5	86,922
平成30年7月豪雨災害義援金（本社取扱）	4月1日～3月31日	12	13,375,044
平成30年7月豪雨災害義援金（愛媛）	4月1日～3月31日	46	1,414,001
令和2年7月豪雨災害義援金	7月7日～3月31日	12	1,199,466
令和元年台風第19号災害義援金	4月1日～3月31日	1	469,812

## (8) 防災・減災の取組み（赤十字防災セミナー、支部独自セミナー）

### 日本赤十字社防災教育事業

日本赤十字社は、全国各支部において「日本赤十字社防災教育事業」を行っています。本事業は、過去の災害の教訓を生かし、将来発生が予測される大規模災害から、人々のいのちを守るために、地域コミュニティにおける「自助」「共助」の知識等を高めるために地域住民や赤十字奉仕団を対象とし、実施しています。

実施状況は次のとおりです。

	開催日	場 所	参加者数
1	6月18日	今治市立朝倉中学校	89
2	8月18日	日本赤十字社愛媛県支部	2
3	9月10日	日本赤十字社愛媛県支部	33
4	10月13日	三崎保健福祉センター	21
5	10月27日	四国中央市立中之庄小学校	60
6	11月17日	愛媛県立農業大学校	47
7	11月27日	松山市立南中学校	199
8	11月30日	松山市立南中学校	191
9	12月1日	松山市立南中学校	227
合 計			869

なお、日本赤十字社防災教育事業のほか、愛媛県支部独自の内容で実施する防災講座（WEB含む）も12回開催しており、518名の受講がありました。

## (9) 臨時救護

愛媛県支部では、西日本最高峰の石鎚山お山開きや、多数の人々が集まって行われる行事等などにおいて、臨時救護所を開設し看護師等の派遣を行っています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により派遣を予定していた行事が中止となったものがあります。

実施状況は次のとおりです。

行 事 名	派遣日	日数	派遣救護員延人数			取扱患者	備考
			看護師	主事	ボランティア		
愛媛県護国神社春季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
石鎚山お山開き	成就社	—	—	—	—	—	中止
	土小屋	—	—	—	—	—	中止
	成就社	—	—	—	—	—	中止
松山まつり	—	—	—	—	—	—	中止
愛媛県護国神社秋季慰霊大祭	—	—	—	—	—	—	中止
愛媛県学童軟式野球交流会	8月29日～30日	2	2	0	0	1	
第40回四国学童軟式野球大会	9月19日～20日	2	2	0	0	0	
愛媛大会愛媛スポーツ・レクリエーション祭	11月1日	1	1	0	0	1	
愛媛県人権・同和教育研究大会	11月10日	1	1	0	0	0	
スマコレランドin松山ゴルフ倶楽部	11月23日	1	1	0	0	0	
合 計		7	7	0	0	2	

## 2. 救急法等の講習

救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法等の各種講習を赤十字基本原則である「人道」を具現化する重点事業として推進しており、日本赤十字社愛媛県支部救護装備・救援物資保管倉庫講習会場で定期開催をするほか、ボランティア指導員等の協力を得て県下各地においても開催しました。

### (1) 各講習の活動概要（地域包括ケアにかかる活動を含む）

#### ①ワールドファーストエイドデー

救急法等講習や救護活動、ボランティア活動等を多くの人に知ってもらい、併せて赤十字をより身近に感じてもらうことを目的として、ワールドファーストエイドデーを開催しました。

- ・開催日 9月8日（日）
- ・開催会場 伊予郡松前町「エミフル MASAKI」
- ・内容 献血会場にてデジタルサイネージを活用した救急法の普及
- ・使用動画 「一次救命処置 心肺蘇生とAED 心肺蘇生ガイドライン 2015」  
「赤十字この一年 令和元年度」  
「ウイルスの次にやってくるもの」  
「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！負のスパイラルを断ち切るために」

※新型コロナウイルス感染症のため、例年より規模を縮小。



#### ②みんなDE防災トライアル

災害に対する自助・共助の意識向上を図るため、家庭や地域で日頃から備えておくべきことなどの防災講座及び非常炊き出し、応急手当等を実際に体験することにより「自助」の重要性を理解することを目的で開催計画しました。

- ・開催日 8月17日（土）
- ・開催会場 日本赤十字社愛媛県支部  
※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

### ③救急法

日常生活における事故防止の知識と思わぬ事故や災害でけがをした人や急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの救命手当や自動体外式除細動器(AED)の使用法及び応急手当の普及に努めました。



#### 1) 基礎講習

番号	開催日	場 所	受講者数
	5月12日・13日 (2日間)	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	6月18日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	8月6日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
1	8月31日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室 (聖カタリナ大学)	33
2	9月7日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室 (聖カタリナ大学)	34
3	9月26日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	14
4	11月4日	松山城南高等学校	24
5	11月5日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	16
6	11月18日	松山城南高等学校	32
7	12月2日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	17
	1月23日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
8	2月11日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	20
9	3月17日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	15
合 計			205

#### 2) 救急員養成講習

	開催日	場 所	受講者数
	5月18~21日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	10月3・4日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止

	11月10・11日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	12月9日・10日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止
	2月27・28日	日本赤十字社愛媛県支部3階 救急法等講習室	中止

### 3) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
	4月5日	松山西側集会所	中止
	5月8日	松山市総合コミュニティセンター サブアリーナ	中止
	5月13日	新居浜市山根総合体育館	中止
	5月13日	新居浜市山根総合体育館	中止
	5月14日	伊方スポーツセンター 体育館	中止
	5月18日	愛媛大学附属高等学校	中止
	5月19日	愛媛県立松山商業高等学校	中止
	5月20日	愛媛大学附属高等学校	中止
	5月26日	学校法人愛光学園	中止
	5月27日	愛媛大学教育学部附属小学校	中止
	6月3日	松山市立雄新中学校	中止
	6月3日	松山市立雄新中学校	中止
	6月4日	松山市立雄新中学校	中止
	6月4日	松山市立雄新中学校	中止
	6月15日	松山大学	中止
	6月16日	松前町立松前小学校 体育館	中止
	6月16日	松前町立松前小学校 体育館	中止
1	6月18日	今治市立朝倉中学校	88
	6月21日	愛南町立長月小学校	中止
2	6月26日	宇和島市立天神小学校	27
3	6月29日	愛媛県警本部	12
4	6月29日	愛媛県警本部	7
5	6月30日	愛媛県警本部	9
6	6月30日	愛媛県警本部	8
7	6月30日	宇和島市立天神小学校	27
8	7月2日	宇和島市立天神小学校	27
	7月6日	松山大学	中止
	7月7日	愛媛県立松山商業高等学校	中止
	7月8日	今治市立朝倉小学校	中止
	7月10日	聖カタリナ大学 北条キャンパス	中止
9	7月14日	愛媛県立北条高等学校 体育館	42
10	7月15日	大洲市 平公民館	20
11	7月21日	今治市市立立花中学校	80

12	7月21日	宇和島市立天神小学校	30
13	7月27日	宇和島市立天神小学校	20
14	7月28日	学校法人愛光学園	24
15	7月29日	砥部町立麻生小学校	21
16	7月30日	愛媛県立松山南高等学校 体育館	63
17	7月30日	宇和島市立天神小学校	19
18	8月1日	カーブスはなみずき	54
19	8月7日	一般社団法人 フリースクール楓	12
20	8月18日	日赤愛媛県支部 (インターン生)	2
21	8月25日	宇和島市立天神小学校	19
22	9月1日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
23	9月2日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
24	9月2日	宇和島市立天神小学校	19
25	9月3日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
26	9月8日	松山市立清水小学校	83
27	9月8日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
28	9月9日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
29	9月10日	日赤愛媛県支部 (聖カタリナ大学)	33
30	9月25日	愛媛県立松山南高等学校 柔道場	53
31	9月25日	宇和島市立天神小学校	19
32	10月2日	新居浜市総合福祉センター	13
33	10月8日	愛媛県立松山商業高等学校 3階会議室	31
	10月14日	松山市総合コミュニティセンター (中予浄化槽管理協同組合)	中止
34	10月23日	新居浜市障がい者福祉センター	12
35	11月12日	松山市立垣生中学校	24
36	11月12日	伊方町立伊方中学校	34
37	11月17日	愛媛県立農業大学校	47
38	11月20日	松野町立松野中学校	89
39	11月25日	愛媛県立松山中央高等学校	29
40	12月7日	四国中央市立寒川小学校	65
41	12月8日	愛媛県在宅介護研修センター	18
42	12月16日	新田高等学校	8
43	12月17日	愛媛県立松山工業高等学校	33
44	12月23日	松山コミュニティセンター	150
45	1月8日	アトムタクシー有限会社	4
	1月13日	愛媛大学医学部看護学科	中止
46	2月6日	河原医療福祉専門学校	20
合計			1,560



#### ④水上安全法

##### 1) 救助員養成講習 I・II

番号	開催日	場 所	受講者数
	7月11日・12日・18日 (3日間)	松山大学御幸キャンパスプール 日本赤十字社愛媛県支部 救急法講習室	中止
	7月21日・22日 (2日間)	伊予市五色浜海水会場	中止

##### 2) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月8日	松山総合コミュニティセンター	中止
2	5月13日	新居浜市 山根公園屋内プール	中止
3	5月13日	新居浜市 山根公園屋内プール	中止
4	5月14日	伊方スポーツセンター	中止

#### ⑤健康生活支援講習

病気や障害等があっても、その人のできることを最大限に活かし、人としての尊厳を保ちながら、健やかな老齢期を過ごす、そのために健康の増進、病気の予防及び高齢者が自立した生活ができるよう介護の知識や技術の普及に努めました。また、コロナ禍での感染予防や閉じこもりによる弊害（認知症の進行やフレイル）対策にも努めました。



##### 1) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月9日	日本赤十字社愛媛県支部	8
	6月13日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	6月17日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	中止
	6月26日	コープ東本	中止
2	7月3日	愛媛県警察学校 (松前町)	75
3	7月13日	日本赤十字社愛媛県支部	16
4	7月14日	日本赤十字社愛媛県支部	16

5	7月14日	日本赤十字社愛媛県支部	16
6	7月18日	日本赤十字社愛媛県支部	6
7	7月28日	大洲市肱北公民館	25
8	7月31日	大洲市肱北公民館	21
	8月3日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	8月4日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	8月5日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
9	8月6日	愛媛県男女共同参画センター (松山市)	23
	8月8日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	9月4日	瀬戸町民センター (伊方町)	中止
	9月7日	八幡浜市J A日土出張所	中止 (台風)
	10月16日	今治市宮窪公民館	中止
	11月2日	愛媛県警察学校 (松前町)	中止
10	11月16日	西条市東予総合福祉センター	34
	11月18日	松山市浮穴公民館	中止
11	11月21日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	6
12	11月24日	新居浜市垣生公民館	28
	12月5日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	12月6日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	12月12日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
13	2月15日	日本赤十字社愛媛県支部	29
14	2月16日	日本赤十字社愛媛県支部	29
15	2月17日	日本赤十字社愛媛県支部	29
16	2月17日	日本赤十字社愛媛県支部	29
17	3月10日	日本赤十字社愛媛県支部	28
18	3月11日	日本赤十字社愛媛県支部	28
19	3月12日	日本赤十字社愛媛県支部	28
20	3月12日	日本赤十字社愛媛県支部	28
21	3月14日	松山市西側集会所	43
22	3月16日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	16
合 計			561

## 2) 指導員養成講習 (新任指導員研修)

番号	開催日	場 所	受講者数
1	5月9日	日本赤十字社愛媛県支部講習室	8
合 計			8

## ⑥幼児安全法

少子高齢の時代に即応し、こどもを社会全体で大切に育てるために、こどもに起こりやすい事故の応急手当と予防、こどもの病気に対する看病の仕方の普及に努めました。



### 1) 短期講習

番号	開催日	場 所	受講者数
	6月7日	テクスポート今治	中止
	6月8日	松前町総合福祉センター	中止
	6月13日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	6月17日	松山市男女共同参画推進センター「コムズ」	中止
	6月24日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	7月15日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	7月16日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
1	7月16日	愛媛大学教育学部附属幼稚園	30
2	7月22日	松山市児童発達支援センター ひまわり園	24
	7月27日	大洲青少年交流の家	中止
3	7月29日	砥部町文化会館	5
	8月8日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
4	8月11日	日本赤十字社愛媛県支部	37
5	8月12日	日本赤十字社愛媛県支部	37
6	8月13日	日本赤十字社愛媛県支部	37
7	8月17日	城辺保健福祉センター	15
8	8月22日	こどものくに保育園 (松山市)	7
9	9月5日	生石保育園 (松山市)	17
10	9月8日	東温市総合保健福祉センター	17
11	9月30日	愛媛県男女共同参画センター (松山市)	15
12	10月3日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	16
13	10月3日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	13

14	10月4日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	13
15	10月11日	大王製紙内 G00.Nすくすくはうす (四国中央市)	17
	10月18日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	10月24日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	10月25日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
16	10月26日	松前町総合福祉センター	10
17	10月31日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	18
18	10月31日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	17
	11月7日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	11月8日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
19	11月10日	虹の森まつの保育園 松野町子育て支援センター (松野町)	29
20	11月12日	伊方町立伊方中学校	34
21	11月18日	西条市総合福祉センター	16
22	11月20日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	6
	11月28日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	中止
	11月28日	福角病院 さくら保育園 (松山市)	中止
23	12月18日	松山東雲女子大学 (松山市)	46
24	12月23日	松山市総合コミュニティセンター (松山市)	150
25	12月26日	こどものくに保育園 (松山市)	6
	1月25日	大護さとやま認定こども園 (松山市)	中止
	1月30日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
	1月31日	日本赤十字社愛媛県支部	中止
26	2月15日	山路白鳩つどいの広場 (今治市)	7
27	2月22日	日本赤十字社愛媛県支部	25
28	2月24日	日本赤十字社愛媛県支部	25
29	2月25日	日本赤十字社愛媛県支部	25
30	3月3日	日本赤十字社愛媛県支部	23
31	3月4日	日本赤十字社愛媛県支部	23
32	3月5日	日本赤十字社愛媛県支部	23
33	3月6日	大護さとやま認定こども園 (松山市)	11
34	3月16日	松山市男女共同参画推進センターコムズ	16
35	3月16日	平井保育園 (松山市)	12
36	3月18日	平井保育園 (松山市)	14
	3月27日	生石保育園 (松山市)	中止
合 計			836

## ⑦保健福祉事業

地域の人々の健康と幸せのため、各種事業を実施しました。

### 1) 赤十字巡回健康講座

地域の方々の健康増進と、疾病の早期発見に役立つ知識の啓蒙・普及を図るため、医師等による講演・個別健康相談、看護師による生活指導や簡易検査を行っている事業ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催予定の地域担当者と協議を重ねた結果、すべて中止となりました。

	開催日	場所	演題	参加者数
	7月27日	西条市東予 総合福祉センター	健康を守る食生活	中止
	9月16日	宇和島市 総合福祉センター	検尿異常と腎臓病	中止
	9月28日	伊方町 生涯学習センター	認知症予防について	中止
	11月26日	西予市野村 保健福祉センター	薬と上手に付き合うために	中止
	12月 4日	川之江 ふれあい交流センター	膝の痛み・腰の痛み	中止
	1月29日	御荘 文化センター	尿のトラブルについて	中止
	3月 2日	新居浜市 総合福祉センター	健康に過ごすための予防学	中止
合 計				0

## 2) ひだまり赤十字

高齢者の健康と自立した生活を地域で支えあうことを目指して、フレイル対策、ストレッチ体操、レクリエーションを行いました。感染対策を徹底し、ひとときでも地域の高齢者の皆様が交流し、笑顔過ごす時間の提供に努めました。

実施状況は次のとおりです。



	開催日	場 所	参加者数
1	11月24日	新居浜市垣生公民館	28
合 計			28

## 3) むくもり子育て広場

乳幼児の子育て家族を支援するために、地域における昔遊びでの交流、子どもの食育・薬の使い方・虫歯予防・ベビーダンスなどから、地域の希望に合わせた講話と、幼児安全法のミニ講習、情報交換等を行いました。

実施状況は次のとおりです。



	開催日	場所	演題	参加者数
1	11月10日	虹の森まつの保育園 地域子育て支援センター	子どもの薬の使い方 幼児安全法短期講習	29
合 計				29



#### 4) 赤十字健康大学

長寿社会に向けた健康管理意識の普及・向上と、赤十字事業を広く理解していただくことを目的に松山赤十字病院との共催により、医師が講演を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となりました。

#### 5) 手つなぎ防災ひろば

地域赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校、地区・分区及び日本赤十字社愛媛県支部が協働し、防災講座、非常食の炊き出し、応急手当等を行いました。

この活動を通じて、異なる世代の交流を図るとともに、地域内の連携強化し、助け合うことの大切さを学びました。

実施状況は次のとおりです。

	奉仕団及び加盟校	開催日	場 所	参加者数	参加者数
1	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立寒川小学校	12月7日	四国中央市立 寒川小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 保護者 その他 支部 計	10 37 5 3 5 9 3 72
2	四国中央市 伊予三島赤十字奉仕団 四国中央市立松柏小学校	1月28日	四国中央市立 松柏小学校	奉仕団員 青少年赤十字メンバー 青少年赤十字指導者 地区関係者 その他 支部 計	5 78 5 2 6 3 99
合 計					171



### 3. 赤十字奉仕団、ボランティア活動

#### (1) 活動概要

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的諸活動を通じて、社会のために役立ちたいという善意の人々が集まって組織された団体であり、地域あるいは職域の実践団体として身近な奉仕活動を行い、地域住民の福祉につながる社業の推進に大きな役割を果たしています。

地域奉仕団は、赤十字奉仕団愛媛県支部委員会のもと、モデル奉仕団の指定、赤十字奉仕団活動用物品助成金、地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会開催等により奉仕団活動の普及に努めています。コロナ禍における活動として、老健施設等へ手づくりマスクやナイロンガウンを作製して贈呈しました。青年・学生奉仕団は、支部イベントのスタッフ協力や献血推進運動への協力を努め、特殊奉仕団は、各団の特色や各団員の技能を活かした活動に努めています。今年度はコロナの影響で思うような活動に結びつきませんでした。

また、青少年赤十字メンバーや学生赤十字奉仕団員のOB・OGによって構成されている個人ボランティアの登録者数は16名も、引き続き活動に取り組んでいます。

結成状況及び事業概要は次のとおりです。

#### (2) 奉仕団等の編成、人数等

種別	団数	人数
地域赤十字奉仕団	55	12,824
青年(学生)赤十字奉仕団	6	127
特殊赤十字奉仕団	3	306
合計	64	13,257



#### ①地域赤十字奉仕団

奉仕団名		備考	
市	松山市	2団	
	内訳	松山市	
		松山市北条	
	今治市		11団
	内訳	今治市今治	休団中
		今治市玉川	
		今治市波方	
		今治市大西	
		今治市菊間	
		今治市吉海	
		今治市宮窪	
		今治市伯方	
		今治市上浦	
		今治市大三島	
今治市関前			

奉仕団名		備考		
市	西予市		5団	
	内訳	西予市明浜	休団中	
		西予市宇和	休団中	
		西予市野村		
		西予市城川		
		西予市三瓶	休団中	
	東温市		1団	
	内訳	東温市		
	越智	上島町		4団
		内訳	上島町魚島	
上島町弓削				
上島町生名				
上島町岩城				
上	久万高原町		4団	
	久万高原町久万			

市	宇和島市		4団
	内訳	宇和島市宇和島	
		宇和島市吉田	
		宇和島市三間	
		宇和島市津島	
	八幡浜市		1団
	内訳	八幡浜市・八幡浜保内	
	新居浜市		1団
	内訳	新居浜市	
	西条市		3団
	内訳	西条市西条	
		西条市東予	
		西条市周桑	
	大洲市		2団
	内訳	大洲市大洲	
		大洲市肱川	
	伊予市		1団
	内訳	伊予市	
	四国中央市		3団
	内訳	四国中央市川之江	
四国中央市伊予三島			
四国中央市新宮			

浮穴	内訳	久万高原町面河	
		久万高原町美川	
		久万高原町柳谷	
伊予	松前町		1団
	内訳	松前町	
		砥部町	
喜多	内子町		1団
	内訳	内子町	
西宇和	伊方町		3団
	内訳	伊方町伊方	
		伊方町瀬戸	
伊方町三崎			
北宇和	松野町		1団
	内訳	松野町	
		鬼北町	
南宇和	愛南町		5団
	内訳	愛南町内海	休団中
		愛南町御荘	
		愛南町城辺	
		愛南町一本松	
		愛南町西海	
		休団中	

②青年(学生)赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
青年・学生	青年	
	愛媛大学	
	松山大学	
	聖カタリナ大学	
	愛媛県立医療技術大学	
	松山東雲女子大学	休団中

③特殊赤十字奉仕団

奉仕団名		備考
特殊	アマチュア無線	
	安全	
	青少年赤十字賛助	



(3) 会議、研修、訓練

行 事	期 日	場 所	参加 者数
赤十字奉仕団委員長会議・研修会	4月20日	資料配布	
青少年赤十字賛助奉仕団総会	6月7日	資料配布	
安全赤十字奉仕団総会	6月13日	文書審議	
第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月13日～14日 (山口県)	文書審議	
HIV/AIDS ヒア・リーダー養成研修会(青年奉仕団)	6月(京都府)	中 止	
青年赤十字奉仕団連絡協議会総会・研修会	6月20日	資料配布	
第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	8月28日～30日 (徳島県)	資料配布	
第5ブロック赤十字奉仕団協議会	9月17日～18日 (鳥取県)	書面開催	
第5ブロック青少年赤十字賛助奉仕団 連絡協議会・研修会	10月8日～9日 (岡山県)	書面開催	
第5ブロック赤十字奉仕団研修会	11月4日～5日 (高知県)	中 止	
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会・総会	11月10日～11日 (福島県)	書面開催	
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月14日	活動紹介報告	
赤十字奉仕団中央委員会	12月3日(東京都)	WEB開催	1
愛媛マラソン救護ボランティア	2月14日	1年延期	
赤十字奉仕団愛媛県支部委員会・役員会	2月	文書審議	
中予地域赤十字奉仕団リーダー養成研修会	2月	中 止	
ボランティア活動充実に向けた研究会	3月10日(東京都)	WEB開催	3
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	817

## 4. 青少年赤十字

### (1) 活動概要

青少年赤十字は、児童生徒が世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校・保育所(園)・幼稚園に組織され、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3項目を実践目標に活動しています。

当支部では、愛媛県教育委員会及び愛媛県青少年赤十字指導者協議会等と連携し、指導者講習会、高校生・中学生・小学生合同トレーニング・センター、研究会等を実施するとともに、「愛媛県青少年赤十字だより」を発行し、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」児童生徒の育成に努めています。

また、青少年赤十字防災教育教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」及び「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」の普及にも取り組んでいます。

加盟状況及び事業概要は次のとおりです。



### (2) 加盟校概要

2年度 新加盟校 5校 (幼3・保1・小1)

※ ◎印は新加盟、○印は再加盟、無印は継続加盟

市町別	校数	校種	学 校 名				
四国中央市	12	幼	愛 和	緑ヶ丘			
		小	川之江	金生第一	上 分	妻 鳥	松 柏
			三 島	中曾根	中之庄	寒 川	
		中	三島西				
新居浜市	11	幼	ひかり				
		小	金 子	高 津	惣 開	垣 生	神 郷
			泉 川				
		中	西	泉 川	中 萩		
西 条 市	8	高	新居浜西				
		保	東予中央	中川さくら	めぐみ		
		幼	めぐみ				
		小	三 芳	中 川			
今 治 市	45	中	西条北				
		高	西 条				
		保	白 鳩				
		幼	しまなみの杜	晴 心	空と海		

		小	吹揚	別宮	常盤	近見	立花
			桜井	富田	清水	日高	乃万
			波止浜	鳥生	国分	朝倉	鴨部
			九和	波方	大西	亀岡	菊間
			吉海	宮窪	伯方	上浦	大三島
			○岡村				
		中	日吉	近見	立花	桜井	南
			西	北郷	朝倉	玉川	大西
			菊間	大島	伯方	大三島	関前
上島町	7	小	魚島	弓削	生名	岩城	
		中	魚島	弓削	岩城		
松山市	82	保	生石	堀江	◎平井	もものはな	えひめ乳児
			こどものくに	ひよこ	虹のそら		
		幼	愛大附属	坂本	愛媛	愛媛星岡	さくら
			花園	大護	道後聖母	番町	梅花
			松山星岡	桃山	コイノニア		
		小	愛大附属	番町	味酒	八坂	東雲
			新玉	雄郡	素鷲	清水	堀江
			潮見	久枝	和気	三津浜	宮前
			高浜	味生	桑原	生石	久米
			道後	湯築	余土	湯山	伊台
			小野	たちばな	椿	北久米	味生第二
			さくら	みどり	福音	姫山	浅海
			難波	立岩	正岡	北条	河野
		中	栗井	中島			
			雄新	鴨川	内宮	津田	余土
高	久米	南	北条北	北条南	松山東雲		
	愛大附属	北条	松山東	松山南	松山商業		
	松山工業	新田	松山聖陵	松山東雲			
東温市	保	南吉井	双葉	拝志	南吉井第二	川内	
		上林					
	幼	重信	北吉井	川上	東谷	西谷	
		北吉井	南吉井	拝志	上林	川上	
	中	東谷	西谷				
		重信	川内				
高	東温						
伊予市	小	南山崎	北山崎	郡中	伊予	中山	
		佐礼谷	下灘	由並	翠		
	中	港南	中山	双海			
松前町	幼	◎古城	エンゼル				
		北伊予	岡田	松前			
	高	伊予					
砥部町	小	麻生	宮内	砥部	広田		
	中	砥部					
久万高原町	幼	仕七川					
	小	明神	久万	畑野川	直瀬	父二峰	



			面河	仕七川	美川	柳谷	
		中	久万	美川			
大洲市	19	保	大洲	喜多	粟津	菅田	新谷
			南久米	肱南	徳森	五郎	大和
			白滝	長浜	肱川	東大洲	
		幼	大洲	○久米	平野		
		小	粟津				
		中	大洲東				
内子町	3	幼	内子				
		小	石畳	天神			
八幡浜市	10	小	松蔭	白浜	神山	千丈	日土
			川上	双岩	喜須来	川の石	宮内
伊方町	8	小	伊方	九町	三机	大久	三崎
		中	伊方	瀬戸	三崎		
西予市	22	保	西予市俵津	西予市野村			
		小	野村	惣川	三瓶		
			明浜	多田	中川	石城	宇和町
			皆田	田之筋	野村	大野ヶ原	惣川
		中	城川	三瓶			
明浜	宇和	野村	城川	三瓶			
宇和島市	14	幼	伊吹	村井			
		小	明倫	宇和津	鶴島	天神	和霊
			住吉	高光	成妙	三間	二名
		中	城南				
高	宇和島東						
松野町	3	小	松野東	松野西			
		中	松野				
鬼北町	3	小	好藤	三島	近永		
愛南町	24	保	家串	柏	御荘	長崎	はまゆう乳児
			城辺	緑	一本松	船越	
		幼	◎あいなん				
		小	家串	柏	平城	長月	城辺
			緑	僧都	久良	一本松	篠山
			福浦	船越			
中	御荘	篠山					



校種	校(所・園)数	メンバー数
保育所	43	3,146
幼稚園	37	4,807
小学校	178	48,277
中学校	54	14,157
高等学校	14	1,556
計	326	71,943

(3) 青少年赤十字メンバー対象の連絡協議会、トレーニングセンター

行 事	期 日	場 所	参加者数
第1回高等学校青少年赤十字協議会	5月23日	文書審議	
青少年赤十字高校生・中学生・小学生 合同トレーニング・センター	7月30日 ～8月1日	中 止	
第2回高等学校青少年赤十字協議会	10月17日	日赤愛媛県支部	32
青少年赤十字・赤十字奉仕団愛媛県大会	11月14日	活動紹介報告	
青少年赤十字国際交流事業	11月15日 (東京都)	WEB開催	3 指導者1
青少年赤十字高校生スタディ・プログラム	3月20日 (山梨県)	WEB開催	3
赤十字手つなぎボランティア	通年	県下各地	817

(4) 指導者対象の協議会、研修

行 事	期 日	場 所	参加者数
愛媛県青少年赤十字指導者協議会 総会・研修会	4月24日	文書審議	
第1回青少年赤十字常任委員会	5月16日	文書審議	
青少年赤十字高等学校指導者協議会	5月23日	書面開催	
青少年赤十字指導者講習会	7月27日～28日	中 止	
第2回青少年赤十字常任委員会	8月22日	日赤愛媛県支部	19
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	9月11日 (東京都)	WEB開催	1
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会長 並びに青少年赤十字事務担当者会議	10月13日 (山口県)	WEB開催	2
第61回青少年赤十字研究会	11月4日	東温市立北吉井小学校	94
青少年赤十字指導主事研究会	1月8日 (東京都)	WEB開催	2
第3回青少年赤十字常任委員会	2月20日	日赤愛媛県支部	19
愛媛県青少年赤十字だより	年1回	2,500部発行	

## 5. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界各地で発生している地震や干ばつ、洪水等自然災害や紛争などで苦しんでいる人々に対し、赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会及び各国赤十字・赤新月社と連携して、赤十字諸原則に基づき、救護・救援活動に取り組んでいます。

当支部では、これら日本赤十字社が行う国際活動の内、次の活動に参画しました。

### ○アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

近年、洪水やサイクロンなどの災害が近年世界的に増加し、安全な飲料水の供給や衛生状態の改善など、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっています。

日本赤十字社は、平成 23 年度から、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開できるよう「給水・衛生災害対応キット」を整備し、災害多発国又は地域に配備するとともに当該地域・国の赤十字社とともにスタッフの研修を行っています。災害発生時には要員を現地に派遣し、現地の赤十字社とともに給水・衛生活動を行います。日本赤十字社中国・四国 9 県支部はこれらの事業に対し、総額 700 万円(当支部負担 753,403 円)を援助しました。

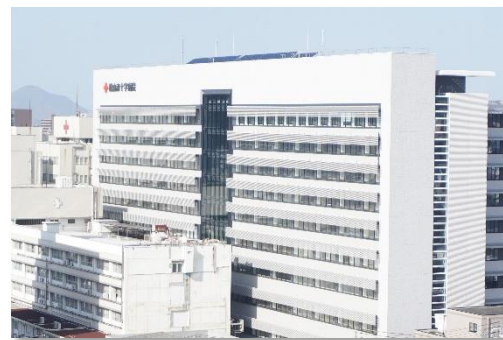
## 6. 医療事業

大正 2 年に日本赤十字社愛媛支部病院（現 松山赤十字病院）を開設して以来、医療事業を継続してまいりました。松山赤十字病院は県内唯一の赤十字病院として、その特色を発揮するとともに、松山医療圏における地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を図りながら地域住民に安全・安心な医療を提供できるよう努めております。

平成 26 年度から新病院建設事業（1 期～3 期）を進めており、平成 30 年 1 月に北棟がオープン、令和 3 年 3 月 15 日に新棟（南棟）が全面オープンいたしました。

南棟の主な機能は、「重症集中治療部門」を ICU・CCU、HCU 併せて 12 床から 20 床に増床するとともに感染症対応の陰圧室、透析設備、映像システムを導入し、より迅速かつ集学的治療が可能となりました。「外来部門」では、南棟に消化管内科、肝胆膵内科、泌尿器科、血液浄化センター、中央検査室等の整備により診療機能の充実を目指しています。また、患者支援センターを地域医療連携室、療養支援室、医療相談室、病床管理室からなる新たな体制とし、患者の皆様や連携医療機関、施設の方々の窓口としてスムーズな対応が可能となりました。

今後、3 期工事として既存棟解体・外構工事を施工していきます。グランドオープンは令和 4 年中を予定



令和 3 年 3 月 15 日新棟（南棟）完成



南棟 1 階エントランスホール総合待合



令和 4 年グランドオープン完成予想図

しており、今後も職員一丸となって「地域を支える最高の急性期病院」を目指していきます。

【基本理念】 人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

- 【基本方針】
1. 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
  2. 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
  3. 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
  4. 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
  5. 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
  6. 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
  7. 健全経営の維持に努めます。

【病院概要】（令和2年度実績）

許可病床数 / 585 床

診療科目数 / 34 診療科

職員数 / 1,572 人（医師 214 人・看護師 811 人・その他 547 人）

患者数 / （外来）延患者数 368,284 人 ・ 1 日平均 1,009.0 人

（入院）延患者数 179,793 人 ・ 1 日平均 492.6 人

## 7. 血液事業

当支部においては、昭和40年3月に愛媛県赤十字血液センターを開設し、病気やけが等で輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、愛媛県をはじめ市町関係機関及び県民の皆様のご理解・ご協力によって、血液製剤の安全性の向上と安定的な供給に努めております。

また、愛媛県では次代の献血を担う、若年層への献血啓発にも力を入れておりますが、当期は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、集合型イベントの実施を複数制限いたしました。

集合座学で実施しております「いのちの講座」についても、リモート手段を利用して実施いたしました。

【基本理念】 血液製剤を必要としている方の尊い生命を救うため 需要に応じた献血血液を安定的に確保し 安全性・品質向上に取り組み 献血者の皆様の想いを届けます  
献血者数は次のとおりです。

献血種類	献血者数
200mL全血献血	118人
400mL全血献血	37,016人
血漿成分献血	11,917人
血小板成分献血	4,968人
合計	54,019人



クリスマス献血キャンペーン



いのちの講座（リモート）

## 8. 赤十字思想の普及・広報

### 赤十字思想の普及

社業の進展は、県民の理解と協力によって支えられており、情報機関への赤十字思想普及及び協力要請を図るとともに、赤十字運動月間中には、松山市役所別館、松山市社会福祉協議会に懸垂幕を掲示したほか、市内バスの車内放送を行い、赤十字活動資金への協力要請を実施しました。

そのほか、年間を通じて、次のような機関誌、印刷物等により赤十字思想の普及に努めるとともにホームページなどで積極的にイベント・講習情報を発信いたしました。

①機関誌・・・赤十字新聞(毎月発行)	1,200部(5月と12月は1,000部追加)
②印刷物・・・ポスター(赤十字運動用)	2,000枚
リーフレット	10,000枚
広報用チラシ	378,315枚

## 9. 会員、活動資金

日本赤十字社は、会員等の支援者から拠出される活動資金によって、国内災害救護事業等のさまざまな事業を実施しており、その活動資金の募集は、主に町内会、奉仕団、法人、個人寄付者の皆さまのご協力によって支えられています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、感染防止に努め、活動資金の確保を図るため、義援金等への協力支援者に活動資金協力依頼をするなど、新たな層への協力依頼を積極的に実施しました。

## (1) 会員概要

赤十字会員とは、日本赤十字社の目的に賛同し、支援してくださる方のことです。会員には、会費として年額2,000円以上のご協力をいただくことにより、個人・法人を問わず、加入することができます。

また、愛媛県支部においては、広く赤十字を支えてくださる支援者を募るため、年額500円のご協力を目安とした協力会員へのご加入を募集しております。

日本赤十字社の活動は、支援くださる皆さまによって支えられているため、一人でも多くの方に赤十字活動をご理解いただき、ご協力をお願いしております。

## (2) 社資概要

市町名	目標額 (円)	実績額 (円)			対目標額(円)	達成率 (%)	
		地区分区分募集分	本社直轄分	計			
市	松山市	66,170,000	46,966,606	2,601,000	49,567,606	△16,602,394	74.9
	今治市	22,577,000	17,787,358	830,500	18,617,858	△3,959,142	82.5
	宇和島市	11,202,000	9,098,353	115,000	9,213,353	△1,988,647	82.2
	八幡浜市	5,341,000	4,920,759	119,000	5,039,759	△301,241	94.4
	新居浜市	16,504,000	10,714,425	453,000	11,167,425	△5,336,575	67.7
	西条市	15,829,000	12,837,220	156,000	12,993,220	△2,835,780	82.1
	大洲市	6,594,000	5,750,998	40,000	5,790,998	△803,002	87.8
	伊予市	5,630,000	4,757,271	163,000	4,920,271	△709,729	87.4
	四国中央市	12,474,000	13,955,415	99,000	14,054,415	1,580,415	112.7
	西予市	6,073,000	5,580,155	7,000	5,587,155	△485,845	92.0
	東温市	4,839,000	4,051,897	54,000	4,105,897	△733,103	84.9
町	上島町	983,000	1,209,000	160,000	1,369,000	386,000	139.3
	久万高原町	1,369,000	1,311,775	15,000	1,326,775	△42,225	
	松前町	4,280,000	4,351,760	48,000	4,399,760	119,760	102.8
	砥部町	3,162,000	2,294,243	80,000	2,374,243	△787,757	75.1
	内子町	2,680,000	2,700,603	59,000	2,759,603	79,603	103.0
	伊方町	1,600,000	1,926,653	0	1,926,653	326,653	120.4
	松野町	559,000	590,200	0	590,200	31,200	105.6
	鬼北町	1,620,000	1,347,734	0	1,347,734	△272,266	83.2
	愛南町	3,316,000	2,847,000	0	2,847,000	△469,000	85.9
支部	一般	9,000,000	—	—	116,674,105	—	—
	ダイレクトメール	—	—	—	6,570,300	—	—
	小計	9,000,000	—	—	123,244,405	—	—
県合計	201,802,000	154,999,425	4,999,500	283,243,330	81,441,330	140.4	

(※病院への使途指定寄付金は除く。)



## 社業振興に伴う会議・研修会

会議・研修会名	開催日・会場	議題及び研修内容
地区区分職員研修会	中止（資料送付）	<ol style="list-style-type: none"> <li>活動資金募集について <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度社資募集実績について</li> <li>活動資金募集に伴う事務処理等について</li> <li>地区区分交付金について</li> </ul> </li> <li>各種事業について</li> </ol>
地区・分区長並びに 地区・分区主管課長合同 会議	中止（資料送付）	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年度活動資金募集等について</li> <li>令和3年度活動資金募集目標額(案)について</li> <li>令和3年度支部事業計画(案)について</li> <li>地区区分における赤十字事業について</li> </ol>

### (3) 企業等とのパートナーシップ

愛媛県支部は、CSR活動の一環として、「赤十字寄付金付自動販売機」や「募金箱の設置」「赤十字支援マーク」の促進を行っています。

気軽にできる社会貢献活動として、多くの企業様からご活用いただいております。

※令和3年3月末の県内の「赤十字寄付金付自動販売機」の設置数は115台です。



### (4) 赤十字大会

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止。

## 10. 役員・評議員会

### (1) 愛媛県赤十字有功会の活動

愛媛県赤十字有功会は、日本赤十字社有功章を受章された方々で組織され、赤十字の人道的任務を支援し、赤十字事業の伸展に寄与することを目的に活動しています。

令和2年度は、愛媛県支部に救護服（20着）、高齢者疑似体験セット（4セット）を寄贈いただきました。

令和3年3月末現在の会員数は、個人63名、法人111社、計174会員です。



### (2) 令和2年度会計監査・業務監査(6月4日)

監査委員による、愛媛県支部及び松山赤十字病院の令和元年度会計監査並びに愛媛県赤十字血液センターの令和元年度業務監査を、松山赤十字病院において実施し、いずれも適正に処理されているとの監査結果でありました。

- ① 令和元年度一般会計歳入歳出決算について
- ② 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- ③ 令和元年度血液事業報告について

### (3) 令和2年度第1回評議員会(コロナの影響により文書審議)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和元年度一般会計歳入歳出決算について
- 第2号議案 令和元年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 第3号議案 令和元年度血液事業報告について

### (4) 令和2年度第2回評議員会(コロナの影響により文書審議)

日本赤十字社愛媛県支部において開催、次の議案を審議し承認されました。

- 第1号議案 令和3年度一般会計歳入歳出予算(案)について
- 第2号議案 令和3年度医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
- 第3号議案 令和3年度血液事業計画(案)について

# 役 員

(令和3年4月1日現在)

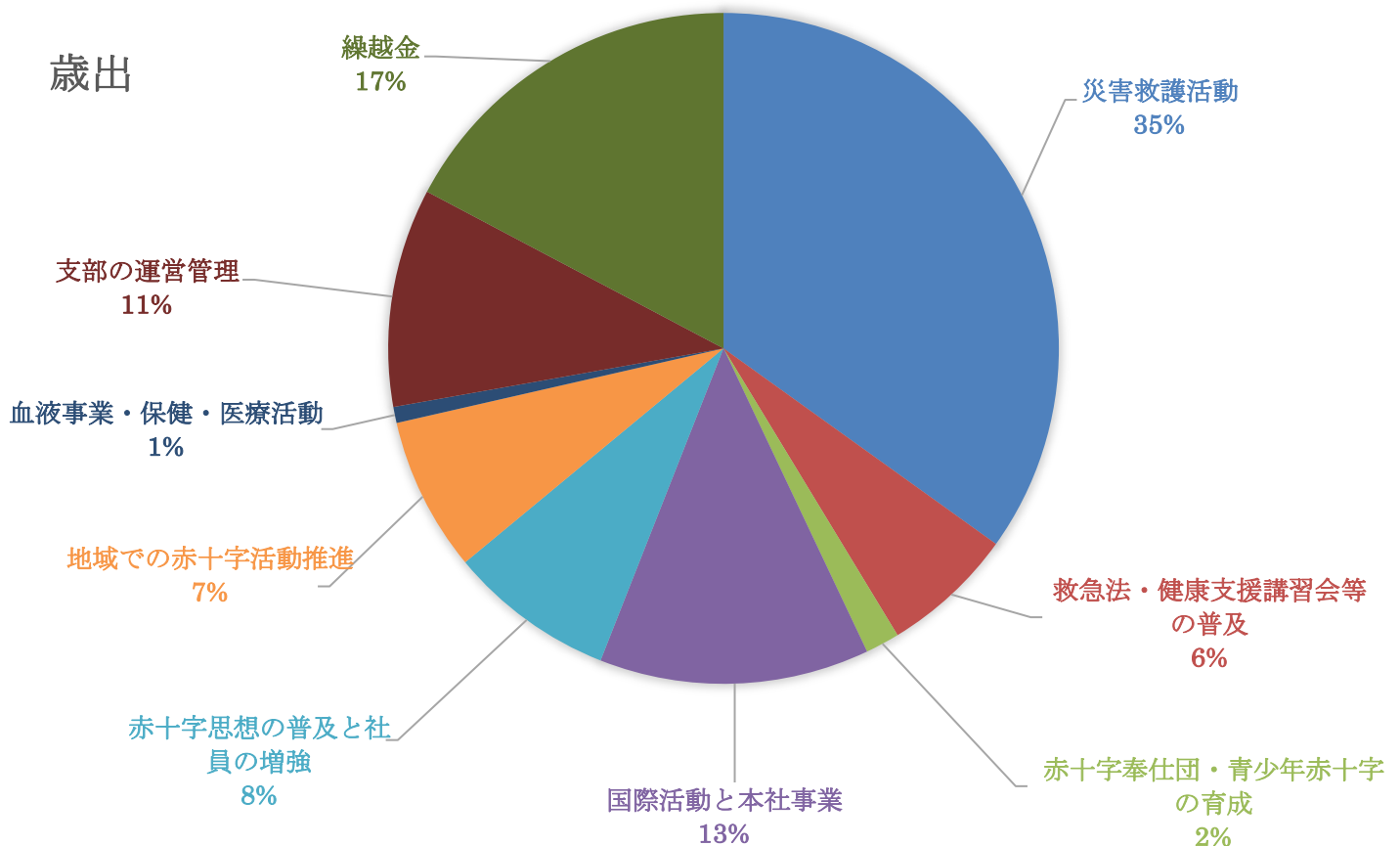
役 名	氏 名	職 名
支 部 長	中村 時広	愛媛県知事
副 支 部 長	菅 規行	愛媛県保健福祉部長
〃	石川 勝行	愛媛県市長会会長
〃	佐川 秀紀	愛媛県町村会長
監 査 委 員	橋本 顕治	八幡浜市副市長
〃	水野 邦洋	公認会計士
地区選出評議員	福山 勝幸	松山市地域協働団体連絡会会長
〃	北川 敦史	松山市社会福祉担当部長兼福祉事務所長
〃	西市 裕二	松山市社会福祉協議会常務理事
〃	山本 勇	今治市連合自治会監事
〃	森田 悦子	今治市連合婦人会副会長
〃	宮本 直明	宇和島市自主防災組織連絡協議会会長
〃	田渕 久子	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団委員長
〃	小野 正師	新居浜市社会福祉協議会会長
〃	伊藤 優子	新居浜市議会議員
〃	徳永 米子	西条市周桑赤十字奉仕団委員長
〃	二宮 賢一郎	大洲市肱川赤十字奉仕団委員長
〃	上岡 幸子	伊予市赤十字奉仕団監事
〃	石川 祐子	四国中央市伊予三島赤十字奉仕団委員長
〃	河野 敏雅	西予市社会福祉協議会会長
〃	中村 英子	東温市赤十字奉仕団委員長
〃	宮川 阪光	上島町社会福祉協議会会長
〃	佐藤 理昭	久万高原町副町長
〃	徳居 芳之	松前町副町長
〃	岡田 洋志	砥部町副町長
〃	山岡 敦	内子町副町長
〃	濱松 一良	伊方町副町長
〃	八十島 温夫	松野町副町長
〃	井上 建司	鬼北町副町長
〃	木原 荘二	愛南町副町長
支部長選出評議員	大塚 岩男	愛媛県商工会議所連合会会頭
〃	河田 正道	愛媛県社会福祉協議会長
〃	清水 一郎	愛媛経済同友会代表幹事
〃	塩出 崇	愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 代 議 員	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長
〃	岡上 昌造	西予市社会福祉協議会常務理事
〃	三好 康子	赤十字奉仕団愛媛県支部委員会委員長
本 社 理 事	鈴木 暉三弘	新居浜市社会福祉協議会元会長

## 11. 令和2年度一般会計歳入歳出決算概要

(単位：千円)

科目	決算額
活動資金（会費および寄付金）収入	286,964
本社交付金収入	266
繰入金収入	233
事業収入・その他	47,345
<b>歳入計</b>	<b>334,808</b>
災害救護活動	116,869
救急法・健康支援講習会等の普及	21,460
赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成	5,507
国際活動と本社事業	43,573
赤十字思想の普及と社員の増強	26,849
地域での赤十字活動推進	24,892
血液事業・保健・医療活動	2,595
支部の運営管理	35,266
繰越金	57,797
<b>歳出計</b>	<b>334,808</b>

※災害義援金は除く。



施 設 一 覧

施 設 名	所 在 地	電 話 番 号
日本赤十字社愛媛県支部	〒790-0854 松山市岩崎町二丁目3番40号	089-921-8603 945-6792
松 山 赤 十 字 病 院	〒790-8524 松山市文京町1番地	089-924-1111
愛媛県赤十字血液センター	〒791-8036 松山市高岡町80-1	089-973-0700
愛媛県赤十字血液センター 大 街 道 献 血 ル ー ム	〒790-0004 松山市大街道1丁目4-17	089-932-0900